

平成23年度 台東区立忍岡小学校 経営計画

平成23年4月1日作成

教育目標	○がまん強い子 ○考える子 ○思いやりのある子 ○健康な子
○目指す学校像	「学校は児童のために在ること」「生涯学習の基礎づくりであること」「結果の出せる教育活動の展開であること」を基盤として、責任と役割を自覚し、地域に開かれた教育・運営を進める学校
○目指す児童像	下町文化の継承と地域社会の発展に貢献するとともに、未来の日本を担う高いところざしと意欲をもつ児童
○目指す教師像	教育公務員としての自覚を高めつつ、議論はすれど反目せず、異論に学び合い、専門性や持ち味を生かし合う教職員

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	学校の取組目標	学校の成果指標	取り組み例
道徳性・社会性の育成	善悪の判断、規範意識や公德心に伴う正しい言動、互いの人権と生命尊重人を思いやる心や態度、正義感や責任感を育成する。	善悪の判断を児童自らが正しく考え、正しく言動できるように育てる。自他を尊重する態度を育てる。	道徳的実践力を育てるため、道徳の時間の指導の工夫を行う。	35(又は34)時間中、30時間以上 4 全学級が実施 3 6学級が実施 2 5学級が実施 1 5学級未満の実施	児童へのアンケート調査で 4 90%以上の児童が、AとBで道徳の授業が好き 3 80%以上の児童が、AとBで道徳の授業が好き 2 70%以上の児童が、AとBで道徳の授業が好き 1 70%未満の児童が、AとBで道徳の授業が好き	・場面絵の活用 ・心のノートの活用 ・役割演技による動作化 ・ペープサートの活用 ・学習シートの工夫 等
			挨拶が進んでできるよう計画的・意図的に指導を行う。	4 全学級が実施 3 6学級が実施 2 5学級が実施 1 5学級未満の実施	児童へのアンケート調査で 4 90%以上の児童が、AとBで進んで挨拶 3 80%以上の児童が、AとBで進んで挨拶 2 70%以上の児童が、AとBで進んで挨拶 1 70%未満の児童が、AとBで進んで挨拶	・各学期、2週間程度の挨拶週間を設定 ・「挨拶カード(自己評価)」の活用 ・ポスターや標語の作成・展示
			きまりを守り安全に生活できるよう年間を通して継続的に指導する。	4 全学級が実施 3 6学級が実施 2 5学級が実施 1 5学級未満の実施	児童へのアンケート調査で、 4 きまりの遵守満足度で、AとBが90%以上 3 きまりの遵守満足度で、AとBが80%以上 2 きまりの遵守満足度で、AとBが70%以上 1 きまりの遵守満足度で、AとBが70%未満	・自分自身が言われて、されて嫌なことは、決して人にしない(いじめ未然防止対応)。 ・朝や帰りの会、場を捉えて指導する。
基礎学力の充実・向上	学習指導要領に示される基礎的・基本的内容を確実に身に付けさせる過程で「確かな学力」(問題解決力、学ぶ意欲、思考・判断・表現力、知識・技能、学び方)を育成・向上させる。	PISA型読解力の考え方を踏まえ、資料や文章を読んで、話を聞いて情報を取り出し、解釈し、熟考・評価して発信できる力を育成・向上させる。	専門講師を招聘した研究会(研究授業、講演会)により、指導力の向上を図る。	4 12回以上実施 3 10回以上実施 2 8回以上実施 1 8回未満の実施	国語、算数、理科に関する児童へのアンケート調査で、 4 90%以上の児童が、AとBで授業が分かる。 3 80%以上の児童が、AとBで授業が分かる。 2 70%以上の児童が、AとBで授業が分かる。 1 70%未満の児童が、AとBで授業が分かる。	・調べたことやまとめたことについて、討論などをする活動 ・言葉、数、式、図を用いたりして考え、説明する活動 ・観察、実験の結果を整理し考察する活動 ・観察や実験の結果を整理し考察する活動 ・言語力に関する講演会
			「読み・書き・計算」の技能の定着を計画的・意図的に行う。	4 全学級が実施 3 6学級が実施 2 5学級が実施 1 5学級未満の実施	4 テストで90%以上の児童が85点以上 3 テストで80%以上の児童が85点以上 2 テストで70%以上の児童が85点以上 1 テストで70%未満の児童が85点以上	・朝学習(15分間)を年間105回以上実施 ・毎日宿題をだし、点検・評価 ・学力向上推進ティーチャーの活用
			読書の楽しさを体得させ、読書習慣の定着を計画的・意図的に行う。	4 全学級が実施 3 6学級が実施 2 5学級が実施 1 5学級未満の実施	児童へのアンケート調査で、 4 読書習慣定着度で、AとBが90%以上 3 読書習慣定着度で、AとBが80%以上 2 読書習慣定着度で、AとBが70%以上 1 読書習慣定着度で、AとBが70%未満	・各学期に2週間程度の読書週間を設定(ノーテレビデー:23日) ・読書カードの活用 ・図書紹介(異学年間) ・学年便り、学校便りにおける協力依頼
体力の向上	生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を培うことを重視し、運動の楽しさや喜びを味わいながら、体力の向上を図る。	新体力テストの結果や日常の様子などから、進んで運動に取り組む態度を培い、発達段階に適した持久力の向上を図る。	不忍池の周りを利用したマラソン大会の実施や日常の運動化につなげる指導を工夫する。	4 全学級が実施 3 6学級が実施 2 5学級が実施 1 5学級未満の実施	児童のマラソンカードで、 4 90%以上の児童が、AとBで練習に取り組む。 4 80%以上の児童が、AとBで練習に取り組む。 4 70%以上の児童が、AとBで練習に取り組む。 4 70%未満の児童が、AとBで練習に取り組む。	・11/30(水)不忍池マラソン大会(全学年) ・10~11月、中休みを中心に練習を強化 ・ジュニア駅伝への参加(3チーム程度) ・年間を通して、外遊びの奨励
家庭・地域との連携・協力	学校の透明性を高め、地域に開かれた学校づくりを推進する。	学校の教育方針や、学校が考えていることを積極的に家庭や地域に知らせ、家庭や地域と連携した学校づくりを行う。	学校から積極的に印刷物やホームページの作成・更新等情報の発信を行う。	年度当初の計画に従い、 4 100%実施 3 90%以上実施 2 80%以上実施 1 80%未満の実施	保護者へのアンケート調査で、 4 95%以上の保護者が、AとBで目を通す。 3 90%以上の保護者が、AとBで目を通す。 2 80%以上の保護者が、AとBで目を通す。 1 80%未満の保護者が、AとBで目を通す。	・学校便り:毎月発行(8月を除く)臨時号(長期休業日と運動会前) ・学年便り:11回以上 ・ホームページ:毎月更新 ・保健・給食便りの随時発行
			授業・行事参観、保護者・地域の方々との話し合いを通して、透明性を高め、説明責任を果たす。	年度当初の計画に従い 4 100%実施 3 90%以上実施 2 80%以上実施 1 80%未満の実施	保護者出席一覧表から算出して、 4 保護者の95%以上が参加 3 保護者の90%以上が参加 2 保護者の80%以上が参加 1 保護者の80%未満の参加	・学校公開:11日(各学期) ・保護者会:5回(各学期実施、3学期は1回) ・個人面談:2回 ・学校運営連絡協議会:各学期実施 ・地域懇談会:7月及び12月実施